

「日本一 本を読むまち」をめざして

～山口市の読書のまちづくりについて～

地域の
特色ある
活動

山口県山口市教育委員会

1 はじめに

山口市は、山口県のほぼ中央に位置する県庁所在都市です。緑豊かな山並みに囲まれ、大内文化の香りと明治維新の策源地として多くの遺跡や史跡があり、歴史と文化に彩られたまちとして発展してきました。市域は島根県の県境から瀬戸内海まで南北に長く、1,023.23 km²と県下最大の面積を有しています。人口は平成 27 年国勢調査において 197,422 人です。

山口市教育委員会では、第二次山口市教育振興基本計画において、教育目標を「やまぐちのまちで育む ふるさとを愛し 豊かな心と健やかな体で 未来を生きぬく子ども」とし、教育環境の向上のため各種政策を展開しています。その中で、図書館事業については、「日本一 本を読むまち」をスローガンにサービスの充実に鋭意取り組んでいます。



中央図書館

2 6つの市立図書館運営

山口市は、平成 17 年に山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町の 1 市 4 町が合併、平成 22 年には阿東町と合併しました。合併後、合併特例債等を活用し、小郡、秋穂、阿東に図書館を相次いで新設し、現在、最大規模の中央図書館をはじめ 6 つの市立図

書館をネットワークで結びながら運営しています。平成 30 年度には蔵書 70 万冊を突破し、県内



おはなし会

トップの質・量を誇り、毎年 70 万人以上の方にご利用いただいています。

これまでの取組として、貸出業務やレファレンス等基本的な図書館サービスに加え、乳児とその保護者を対象としたブックスタート事業やおはなし会、映画上映会、図書館まつり等のイベントを開催してきました。

加えて、図書館の利用が困難な中山間地域等に、移動図書館「ぶっくん」を 2 台体制により、10 ルート・45 ステーションを定期的に巡回しています。



移動図書館「ぶっくん」

また、学校図書館支援として、幼稚園、小・中学校に定期的な配本を行うとともに、出前ブックトークやテーマに応じた資料提供の実施等、児童生徒の読書習慣の形成に向けた取組を進めてきました。

3 新たな図書館サービスの展開

平成 30 年度からは、「第三次山口市立図書館サービス計画」に基づき、図書館の活用を促す取組やまちじゅうで本に親しんでいただける環境づくりを進めています。

(1) ソフト事業の充実

新たな取組として、地元放送局のエフエム山口のパーソナリティによる読み聞かせイベント「こどもワイワイ図書館」や薩長同盟になぞらえて鹿児島市立図書館と図書館薩長同

盟を締結し、お互いのまちを学ぶ「歴史講演会」の開催、さらに山口市をホームタウンとするJリーグチーム「レノファ山口FC」の選手による好きな本の紹介や読み聞かせイベント等、様々な主体や民間事業者と連携した事業も展開しています。また、市内在住の奏者によるアイルランドの伝統楽器アイリッシュハーブの演奏や留学生による中国の伝統楽器「古箏（こそう）」の演奏、バリ島の出身者による伝統音楽のガムランの演奏といった、「ライブラリーコンサート」を開催し、人気を得ています。



ライブラリーコンサート

(2) 中央図書館のリニューアル

平成30年度に中央図書館開館15周年を迎えるにあたり、平成31年3月に中央図書館の大規模なリニューアルを行いました。快適で落ち着いた雰囲気を作り出し、誰もが入りやすく集いやすくするため、曲線が特徴的な閲覧机や観葉植物を配置して、気軽にゆっくりと読書や調べ物ができるスペースを整備するとともに、絵の展示やワークショップを開催することができるエリアを新たに設けました。

また、1階奥にあった3つの部屋を1つの空間に改修し、少人数から多人数まで、テーマに応じた講座やセミナーに利用できる多目的スペースを整備しました。

さらに、タブレット端末の貸出や、飲み物を飲みながらゆっくりと過ごしていただけるようにするなど、従来型の図書館から新しいスタイルの滞在型図書館として生まれ変わりました。

こうしたリニューアル効果により、来館者数も着実に増加しています。

(3) まちじゅう図書館

図書館以外の場所でも市民の皆様は本に触れ合う機会を提供し、新たな交流やにぎわいを生み出すことを目的に、市内カフェ6店舗にサテライトライブラリーを設置し、旅、アート、建築、食、動物等をテーマとした本を毎月50から60冊程度配本し、1店舗あたり月平均で



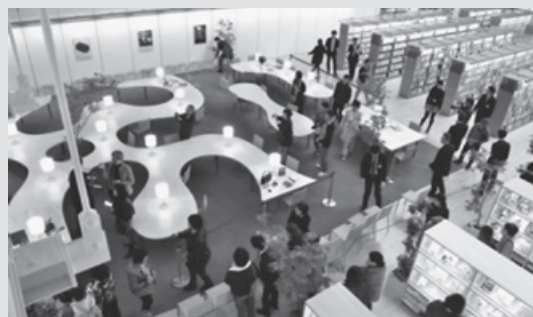
サテライトライブラリー

約130名の方に御利用をいただきました。また、サテライトライブラリーの設置者に中央図書館へ出張していただき、コーヒーの入れ方講座のワークショップを開催したところ、定員を大きく超える応募をいただくなど好評を博しました。今後は、カフェ以外の多様な場所にも拡大していきます。



コーヒーの入れ方講座

リニューアルやまちじゅう図書館等により、情報と学びの拠点としての機能強化はもとより、市民の皆様が気軽に本を手にとっていただけるような環境づくりを進め、新たな交流やにぎわいの創出につなげていきます。



中央図書館のリニューアル

4 おわりに

今後、貴重な地域資料の充実、電子図書館サービスやデジタルアーカイブ等のIT化も進めていくこととしています。

また、学習指導要領の改訂により、学校における深い学びの実現が求められ、学校図書館機能の重要性が増す中で、支援の充実を図っていきます。

本は、人々の心と暮らしを豊かにしてくれます。図書館職員のスキルを高め、時代の変化や市民ニーズを的確に捉えながら、引き続き図書館サービスの充実に努め、図書館のもつ情報と場の力を最大限に発揮し、まちが活性化する新しい図書館づくりを進めます。目指すのは「日本一本を読むまち」です。



教育長
藤本孝治